

行政経営会議の内容

件名	大和市国民健康保険データヘルス計画（第3期）の策定について
所管部	健康福祉部、市民経済部
日時・場所	令和6年1月26日（金）9:10～9:40 研修室
出席者	市長、副市長、教育長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境施設農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり施設部長、市立病院事務局長、議会事務局長、教育部長、消防長、医療健診課長、健康づくり推進課長、保険年金課長
提出理由	令和6年度～11年度を計画期間とした第3期大和市国民健康保険データヘルス計画を策定するにあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none">本市国保被保険者の一人あたり医療費が県内市で低い傾向にある要因は何か。 （所管部）本市国保被保険者の高齢化率は県内でも川崎市に次いで2番目に低い状況にあり、そのことが主な要因であると考えます。しかしながら、本市においてもいずれは高齢化が進むことから、今後は現在の本市の課題である若年層の特定健康診査受診率を向上させるためのアプローチが特に必要になってくると考えます。今回の計画は健康課題ごとに解決するための事業を設定し、前計画と比べ分かりやすくなったと考えるが、この中でも特定健康診査受診勧奨事業については、前計画から受診勧奨（アウトプット）を十分に実施している中であっても、受診率が伸びていないように見える。今後の方策は何かあるのか。 （所管部）コロナ禍では特定健康診査の実施期間を延長したことから、その周知を兼ねた受診勧奨通知を未受診者全員に送付していたところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により受診率が向上しなかった。今後については未受診者全員への受診勧奨は継続するが、対象者の年齢によって勧奨通知の発送時期や内容を工夫するなど、実施していきたい。生活保護の受給者に対しても、健診事業（基本健診）等を行っていることから、本計画と同じように取組みを進めていただきたい。
会議結果	案のとおり、進めていく。